

# 活動紹介!



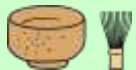

## ケルティックハーフ教室

ケルト文化圏(アイルランド、スコットランド、マン島、ウェールズ、フルターニュ、ガルシア地方)に伝わる素朴で美しい楽曲をケルティックハーフと呼ばれる小型のハーフで弾いています。小学生から大人までが対象で、基礎から学んで、素敵な音色を奏できます。

土曜日午後個人レッスンをしています。体験レッスンも受付中とのことです。



## 5月の催しから

- 5 (木) ニモオーケストラ コンサート 
- 7 (土) Y.K.ミュージックグループ コンサート 
- 8 (日) ミムミムの森 ピアノ・フルートコンサート
- 14 (土) 吉岡 駿 ピアノリサイタル
- 15 (日)
  - ・菊池音楽教室発表会
  - ・楽茶会 
- 22 (日)
  - ・中村橋 ABF ダンス発表会
  - ・荒馬座の弦楽器演奏会
- 29 (日) 星リトルコンサート 

これらはあくまでも予定ですので変更もございます。一般の方の参加の可否等、詳細は主催者までお尋ねください。

## 会館事務室から



## 今月の話題 - バラ

バラの花が美しい季節になりました。花言葉では、愛と美の象徴とされ、花の女王とも言われています。バラは交配が比較的容易なため、世界中でたくさんの品種が作られてきました。その数は3万種とも言われ、今でも盛んに品種改良が行われています。

ギリシア・ローマ時代から、薬用や香料として利用されてきましたが、ナポレオン1世の皇后ジョセフィーヌがバラの育種に熱心になったのをきっかけに観賞用としてのバラの栽培が盛んになったそうです。

バラには、その本数、色、色の組み合わせ、咲き方などによってさまざまな花言葉があります。本数では、1本「あなたしかいない。一目惚れ」2本「この世界は二人だけ」3本「愛しています」4本「死ぬまで気持ちは変わらない」5本「あなたに会えて本当に良かった」…108本「結婚してください」だそうです。一体誰が決めたのでしょうか。



英語に、Stop and smell the roses. という表現があります。直訳すれば立ち止まってバラの香りをかぐ、ということですが、意味は身の回りの美しいものに感謝しようということ。バラは美の象徴ですから。